

○市民のための健康教室（全10回）

会場：当院2階講堂

時間：14:00～15:00

第8回：12月12日（火）

「寒い冬をのりきろう～インフルエンザを予防するためには～」 講師：石橋 由紀 保健師

第9回：1月9日（火）

「大腸がんを知ろう」 講師：消化器内科部長 松隈 則人 医師

第10回：2月13日（火）

「花粉症を学ぼう」 講師：古賀 富恵 保健師



予約不要・参加無料です。お気軽にご参加ください。

教室のご案内

- 糖尿病教室 開催時間：14:00～ 開催場所：2階講堂隣カンファレンスルーム

12月11日（月）～15日（金）

- 腎臓病教室 開催時間：14:00～ 開催場所：2階講堂隣カンファレンスルーム

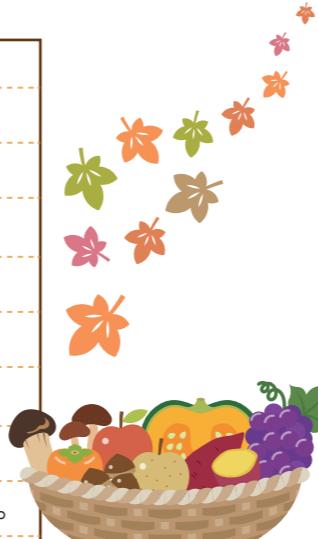
12月4日（月）～7日（木）

- 糖尿病食試食会 開催時間：12:00～ 開催場所：2階講堂隣カンファレンスルーム

12月8日（金）

教室の参加には事前のご予約が必要となります。

ご予約およびお問い合わせは A 外来までお願いします。



秋の八重つつじ会のご案内



- 開催日時：2017年11月26日 日曜日 10時～12時

- 開催場所：JCHO 久留米総合病院 2階講堂

当院内分泌代謝内科医師のお話と各種コーナーをご用意しております！

参加申込およびお問い合わせは、A 外来までお願いします。



血糖自己測定
体験コーナー



お薬相談
コーナー



フットケア
体験コーナー



食事と栄養を
学ぶコーナー



禁煙のお願い

JCHO 久留米総合病院は
敷地内全面禁煙となっております。
No smoking ご理解とご協力をお願いいたします。



独立行政法人地域医療機能推進機構
Japan Community Healthcare Organization: JCHO

〒830-0013 福岡県久留米市櫛原町21番地

TEL: 0942-33-1211 FAX: 0942-32-0113 URL: <http://kurume.jcho.go.jp/>

2017年11月発行 発行責任者：院長 田中 真紀 編集：広報委員会

JCHO 久留米総合病院
ジェイコー



JCHO くるめニュース

ほ
と
め
く

「ほとめき」とは筑後の方言で「おもてなし」という意味です。書：院長 田中 真紀

当院の理念

地域住民の多様なニーズに応え、
安全・安心で心の通う医療を提供する

方針

- 利用者の尊厳を守り、地域での包括的な医療支援やサービスに努める
- 地域に密着した公共性の高い医療を目指す
 - 地域医療機関との連携を強化する
 - 地域に特色のある医療を担う
- 質の高い医療を提供するために資質の向上に努める



「午後のピアノ」15周年記念会を開催しました！

2017年9月27日（水）、JCHO 久留米総合病院附属介護老人保健施設にて「午後のピアノ」15周年記念会を開催しました。

「午後のピアノ」は施設を利用する方々に音楽を楽しんで頂くために、ボランティアの方々のご協力を得て、平成14年9月から始まりました。今回は15周年特別企画として2チームに分かれて歌合戦を行いました。名誉院長 津田 英照先生の司会により更に熱気が高まり、それぞれタンバリンや鈴、マラカスなどを手にして、ホールを揺るがすような大合唱で、高得点が飛び交う白熱した歌合戦となりました。



ジェイコー 独立行政法人地域医療機能推進機構
JCHO 久留米総合病院



No.14
2017
11月

診療科紹介 救急科



救急科医長 高木 たかき ひろし 医師

- ・平成 13 年医師免許取得
- ・日本内科学会認定内科医
- ・日本消化器病学会消化器専門医
- ・日本消化器内視鏡学会専門医
- ・日本肝臓病学会専門医
- ・日本救急医学会専門医
- ・日本消化管学会専門医
- ・産業認定医
- ・趣味 沖縄そば巡り
- ・最近の出来事から一言 家族の優しさに感謝しています。

JCHO 久留米総合病院の新診療棟では専用の救急処置室（3 床）、発熱外来室があり、入院が必要な患者さんは HCU に迅速に運んで治療を行う、より高度な救急医療を提供する体制が整っています。平成 25 年より救急医療を開始して以来、平成 27 年度は約 970 件、平成 28 年度は約 780 件の救急搬送を受け入れ、2 次救急病院として広く認知されるようになりました。

そこで平成 29 年 9 月より、多くの救急患者を受入れる事が出来る様、救急科を立ち上げる事となりました。医師、看護師、メディカルスタッフと協力しながら、急性期の患者さん一人一人に対しまして、迅速に診断・治療を行い、救命する事を目的としています。地域の皆様に少しでも安心を届けられる様、努力して参ります。

年度別救急患者件数

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
救急車での搬送	818	964	775
Walk-in	677	637	1,004
合計	1,495	1,601	1,779



部門紹介 手術センター

手術センターは、定時手術、緊急手術、また開放型手術にも迅速に対応しています。特に乳腺手術は全国でもトップクラスを維持し、平成 28 年度の手術症例総数は 2,000 件以上実施しています。また、婦人科、消化器外科の鏡視下手術は 3D 立体映像環境で積極的に行ってています。3D 映像は、奥行きの把握が容易となり、より迅速で正確な手術が可能です。患者さんは手術創部が小さいため、術後疼痛がないことで早期離床が可能となります。

手術室看護師は、術前に患者さんの病室にお伺いし、手術に関する説明や手術に対する不安や疑問、悩み等を少しでも軽減できるように努めています。術後は、患者さんの回復状況の確認や患者さんの声をお聴きし、患者さんの安全・安楽を考え手術が円滑に進行できるよう努めています。

患者さんが安全で安心な手術を受けられるように、医師、看護師、臨床工学技士、他部門のスタッフが一丸となって業務にあたっています。進歩し続けるケアを提供できるよう、手術室スタッフ一同日々努力していきたいと思います。

年度別手術症例数

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
内科	101	90	106
外科	307	362	379
乳腺外科	733	783	775
泌尿器科	122	107	91
産婦人科	628	507	590
整形外科	56	75	102
合計	1,947	1,924	2,043

乳がん こころとからだのおしゃれ教室



「乳がん こころとからだのおしゃれ教室」では乳がん患者さんに、治療を受けながらこころとからだをリフレッシュし、治療中も女性らしくイキイキとワクワクとキレイであることを諦めない生活を送っていただくことをコンセプトに月に 1 回、実践を交えた講義を開催しています。

9 月 20 日（水）のおしゃれ教室では「今日からできるマウスケア～口内炎を予防するために～」を学びました。

化学療法中、抗がん剤の種類によっては口内炎の原因となることがあります。できてしまった口内炎を悪化させないためには、

1. 口の中を清潔に保つ
2. 口の中を保湿する
3. 痛みをコントロールする

1 日 3 回以上のうがい目安に！



ことが大事です。

吐き気などで気分がすぐれないときでも、トイレの後など身体を動かした時に、こまめにうがいすることで、口腔のケアと保湿の重要な手段に繋がると教えて頂きました。

今後は、補整下着について、頭髪ケアとメイクについて、化学療法中の食事について、などを予定しています。

参加のお問い合わせは外科外来、化学療法室、4F 女性病棟の看護師までお気軽にお尋ねください。がん治療を受けられる患者さんやご家族の皆様に少しでも笑顔で過ごせせるよう、お役に立てていただければ幸いです。



市民のための健康教室

JCHO 久留米総合病院では、毎月 1 回、健康につながる様々なテーマで市民の皆さんに公開講座を行っています。

第 5 回：9 月 12 日（火）

「子宮がんについて～HPV ワクチンと検査について～」

産婦人科部長 畠瀬 哲郎 医師

日本では諸外国と比べて年々若い方の子宮頸がんの発症が増えているそうです。がんの早期発見や治療のためにも、定期的な検診や予防ワクチンの検討が大事だと講義をしていただきました。



第 6 回：10 月 10 日（火）

「上手なお薬との付き合い方」

薬剤科長 藤井 裕史 薬剤師

病気や体質など、1 人 1 人に合わせたお薬の使用方法があるため疑問点などは随時かかりつけの薬剤師にご相談をお願いする事と、複数の病院にかかっている場合は同じ成分のお薬が重複しないように、また災害時のためにお薬手帳を携帯することが大事だと講義をしていただきました。

